

# 令和3年度 事業計画書

(2021年度)



公益財団法人 吉田記念テニス研修センター

# 令和3年度 事業計画書

## 目 次

### I テニス部門

1. 普及プログラム事業（公益目的事業1）	
アダルト・ジュニア	1
プロジェクト	3
2. 選手育成事業（公益目的事業2）	
レベルアップ	4
フューチャーズ	6
ハイパフォーマンス	9
ハイパフォーマンス車いす	10
トーナメント	12
イベント	14
3. 指導者育成事業（公益目的事業3）	
研修	15
4. フィットネス・ケア事業（公益目的事業4）	
フィットネス・ケア	18
5. フロント	21

### II 収益・その他部門

6. プロショップ事業（収益事業1）	
プロショップ	25
7. 賛助会（Le Club TTC）事業（その他事業1）	
賛助会	27
ヴォランティア	28
Le Club TTC	29

### III 管理部門（法人会計）

1. 管理	30
2. 広報	31
3. 企画	32
4. 施設管理	34
5. 経営その他	37

## 2021年度事業計画

### I テニス部門

#### 1. 普及プログラム事業（公益目的事業 1）

##### 【アダルト・ジュニア】

##### (1) 基本方針

「世代を超え、レベルを問わず、テニスの輪を広げる」環境をつくり、TTCのブランド力を高め、スクール事業の安定収入の基盤となるレギュラー人数を確保する

##### (2) 収入予算計画

年間売上 171,733 千円（アダルト 120,595 千円/ジュニア 51,138 千円）を目標とする  
（詳細は別紙参照）

【昨年対比 181,606 千円（アダルト 129,149 千円/ジュニア 52,457 千円）】

##### (3) 活動指針

レギュラー在籍者数は月平均 1,285 人（アダルト 770 人/ジュニア 515 人）を目標とする。  
（詳細は別紙参照）【昨年対比 1,300 人（アダルト 760 人/ジュニア 540 人）】

フリーチケット年間収入は 7,482 千円を目標とする

（詳細は別紙参照）【昨年対比 8,442 千円】

プライベートレッスン年間収入は 4,260 千円を目標とする

（詳細は別紙参照）【昨年対比 3,312 千円】

##### (4) 活動計画

##### A) プログラム活動計画

① 入会者数は 245 人（アダルト 105 人/ジュニア 140 人）を目標とする

② 退会者数は 220 人（アダルト 100 人/ジュニア 120 人）を目標とする

③ 体験からの入会率はアダルト 65%・ジュニア 90%を目標とする

④ フリーチケットは、フリー④10枚・フリー⑧15枚を月の目標にする

⑤ プライベートレッスンは 50 人を月の売上目標にする

⑥ アダルトプログラムの質の向上

✧ レッスンオブザベーションの実施

✧ インドアコートを活用

⑦ ジュニアプログラムにおける TENNIS PLAY&STAY の質の向上

✧ 上達チェックシートの運用

✧ 保護者会の開催（6月）

✧ 保護者とコミュニケーションをとる

⑧ 車いすプログラムの質の向上

✧ 立石コーチをリーダーに普及の車いすプログラムの情報共有を行う

⑨ コーチの強みを生かしたイベントの企画・実行

⑩ SNS の活用

- ◇ LINE@の活用
- ◇ SAでの代理の告知
- ① 楽楽テニスの充実と拡大
  - ◇ 楽楽テニスの有料参加者は各回24名を目標とする
- B) キャンペーン活動計画
  - ① 新規入会・紹介キャンペーン
    - ◇ 春と秋の年2回実施する
    - ◇ 新規入会者数は100人を目標とする
      - \*春55人(アダルト20人/ジュニア35人)
      - \*秋45人(アダルト15人/ジュニア30人)
    - ◇ カテゴリー変更を考慮し、春はY・Hクラス、秋はK・Cクラスをメインターゲットにする
- C) 年間スケジュール(イベント・トーナメント)
  - <アダルトプログラム>
    - \*KAZUKO杯 日程未定
    - \*TTCチャンピオンシップ 5/4
    - \*ステップアップダブルス 5/25・7/16・9/30・11/11・1/28・3/17
    - \*雑賀杯TTC予選 日程未定
    - \*車いすライオンズカップ 10/3
  - <ジュニアプログラム>
    - \*チャレンジマッチ 5/5・11/3・11/23・2/11
    - \*サンデージュニアマッチ 年12回
    - \*ピヨピヨ親子ショートテニス教室 5/5・11/3・2/11
- D) スタッフデベロップメント
  - ◇ スタッフ研修および科学セミナーへの参加
  - ◇ インプット&アウトプットの機会として、外部セミナーを受講しレポートを  
発表する
  - ◇ 新人スタッフの育成
- E) 地域貢献活動
  - ◇ 花野井小学校クラブ活動
  - ◇ 田中幼稚園テニスレッスン
  - ◇ 豊四季幼稚園テニスレッスン
- (5) 経費計画
  - 年間10万円を超える支出
  - ◇ 永年表彰記念品 500千円
    - (マグカップ80千円/ティファニーグラス300千円/写真立て120千円)

◇ ボール 1,900 千円

(イエロー1,400 千円/グリーン&オレンジ&レッド&スポンジ 500 千円)

## 【プロジェクト】

### (1)基本方針

事業全体の将来を見据え、今後の事業発展には不可欠な要因を見極め事業の持続性に努める。また、時代の変革や日々変化するお客様のニーズにお応えし持続可能な事業を目指し取組んで行く。

### (2)活動方針

#### ①キャッシュレス化・合理化の推進

フロント業務を始め、キャッシュレスに伴うシステム対応など合理的な業務対応を進めて行く

#### ②Play Sight の再導入(新たなテクノロジーへの取組み)

暫く中断していた Play Sight を復活させ、質の高いまた付加価値の高いプログラムを提供し選手の強化を目指す

#### ③マーケティングプロジェクトの実施と継続

0 歳～3 歳までと、幼稚園生(未就学児)を対象に将来 TTC のお客様になり得る客層に新たな取組で TTC 全体の活性化と地域に根ざした取り組みを目指す

#### ④情報収集活動

将来の人口動向や年齢構成の変化に対応し、持続可能な事業を目指し複数の事業所化や新たな取組みへのリサーチ活動を続けて行く

### (3)活動計画

#### ①キャッシュレス化

お客様の利便性を第一に、業務の自動化を進める。同時に、管理のキャッシュレス化や TTC 全体の業務効率化を進めて行く

- ・フロント業務のシステム移行(含む SA の UP デートで利便性の改善)
- ・お客様取引を口座引落に移行しキャッシュレス化を図る

#### ②Play Sight の導入と活用

運用と管理と役割を分け、効率よく Play Sight を使っていく。

具体的な Play Sight の使い方などの運用は穂積、販売メーカーとのやり取りやメンテナンスなどの管理は稲葉が担当する。

#### ③新マーケットの開拓

日程を決めて、柏市保健所/幼児指導員のサポートを頂きながら 0 歳児からの未就学児の新たな客層をターゲットに TTC の利用幅を広げる活動を目指す。

#### ④情報収集

- ・地域の情報収集に努める。土地の活用や地域の再開発計画など情報感度を高める

## 2.選手育成事業（公益目的事業 2）

### 【レベルアップ】

#### (1) 基本方針

長期的視野に立った選手育成のスタート段階として、選手とその家族が指導方針の理解や TTC の理解、競技スポーツの理解を深められる環境づくりを行う。また、フューチャーズクラスに向けてパフォーマンスを上げていくこと、並びに私立中学の受験を見据えたジュニアにとっても、将来的に活躍できる土台を作ることを目的にトレーニングを行う。そのために「基礎的な身体能力の開発と向上・テニススキルの向上・アスリートマインドの育成」を主眼にプログラムを行っていく。

#### (2) 収入・予算計画

月会費 2・3 年生	3,648 千円（10 名@30 千円）【昨年度予算 4,378 千円】
月会費 4・5 年生	4,032 千円（10 名@34 千円）【昨年度予算 4,838 千円】
レベルアップキャンプ 2 回	360 千円（20 名@9 千円）【昨年度予算 360 千円】
北軽井沢キャンプ	2,200 千円（40 名@55 千円）【昨年度予算 2,200 千円】
グリーンボール大会 2 回	180 千円（30 名@3 千円）
対抗戦 1 回	50 千円（20 名@3 千円）
プライベートレッスン	500 千円
合計	10,970 千円【昨年度予算 9,576 千円】

#### (3) 活動指針

##### ① 身体能力の開発

- ・ W-up を各自がどこでも行えるよう指導をすすめる
- ・ チャレンジシートの活性化

##### ② テニススキルの向上

- ・ 4・9 月にテニステストを用い、スキルの評価を行い各自の課題を明らかにする
- ・ Futures クラスを見据えたジュニアを中心にプライベートレッスンを実施

##### ③ アスリートマインドの育成

- ・ スポーツマンシップを理解させる。また、担当コーチも発信できるようにする
- ・ コーチが帯同する大会に試合結果のゴールを作り、そのゴールに向かった自立的な練習を行う
- ・ レクチャーを行い、必要な知識の獲得を行う。また、言語技術を理解し、論理的思考やスピーチの能力を上げる
- ・ オフコートでの振る舞いや食事などキャンプやセミナーを通して理解を深める

#### (4) 活動計画

①在籍人数目標：年平均 20 人【昨年度目標 24 人】

入会目標 10 人 【昨年度目標 10 人】

\*フューチャーズ入会テスト受験見込：(4 月 4 人、9 月 2 人)

【昨年度目標 4月 4人、9月 1人】

②イベント

- ◇5月：小学生グリーンボール大会 30人
- ◇6月：レベルアップキャンプ 20人【昨年度目標 20人】
- ◇7月：北軽井沢キャンプ \*レベルアップからの参加者 20人【昨年度目標 20人】
- ◇9月：筑波山登山トレーニング（フューチャーズクラスと合同）
- ◇10月：小学生グリーンボール大会 30人
- ◇11月：レベルアップキャンプ 20人【昨年度目標 20人】
- ◇12月：対抗戦

③保護者とのコミュニケーションと情報共有

- ◇4月：指導方針、年間スケジュール
- ◇4月：各家庭と個人面談（テニステスト使用）
- ◇6月：レベルアップキャンプ報告と夏の試合について
- ◇9月：指導方針・夏のフィードバック
- ◇9月：各家庭との個別面談（テニステスト使用）
- ◇ジュニア全体ミーティング（Futures）への参加
- ◇全国選抜ジュニア選手権大会のミーティングへの参加
- ◇科学セミナー講師によるセミナーへの参加

④ボランティア活動への参加

- ◇全国選抜ジュニア
- ◇全日本選抜車いすテニスマスターズ
- ◇おはようキッズ
- ◇ピヨピヨ親子テニス教室

⑤コーチの試合帯同

ゴールに設定した試合をコーチが帯同し、育成の進捗状況・他クラブの選手状況を把握し、今後の指導に役立てるものにする。また、保護者との信頼を得るためにもコミュニケーションを行う場とし、以下の大会を視察する。

のびす北ブロック【松原TC】（7月）

⑥クラスの合理化

オレンジボールクラスの練習を実施しない日を設定し、効率的に練習を行う。

⑦レベルアップ選手候補の発掘

普及コーチと協力しチャレンジマッチ参加者のプレーを視察し、普及クラス担当コーチへの助言や選手・保護者へのアプローチを行いレベルアップコースの認知活動を行う

(5) 経費計画

特になし

## 【フューチャーズ】

### (1) 基本方針

- ◇夢を追えるプログラムとする
- ◇国際的に通じる選手を育成する

### (2) 収入予算計画

フューチャーズ	27,807 千円	*ジュニアトランジット 2,160 千円含み	【昨年度予算 25,156 千円】
プライベートレッスン	1,950 千円	*月平均 170 千円(8月 80 千円)	【昨年度予算 1,951 千円】
海外キャンプ	1,200 千円	*200 千円×6 人	【昨年度予算 1,200 千円】
ITF 遠征	3,000 千円	*300 千円×6 人×1 回、300 千円×4 人×1 回	【昨年度予算 3,000 千円】
エキストラ	466 千円	*4~7月 2 人、9~3月 3 人 (8月は休止)	【昨年度予算 128 千円】
白子キャンプ	300 千円	*150 千円×2 回	【昨年度予算 300 千円】
北信越交流会	80 千円	*2 回(5月,12月)	【昨年度予算 77 千円】
合計	34,803 千円		【昨年度予算 34,012 千円】

### (3) 活動指針

#### ◇夢を追えるプログラムとする

- ・「Reach Your Max」をスローガンに進める
- ・「Long-term development」の考えのもと、長期的な視点に立ち育成する
- ・個別面談や全体ミーティングを行い保護者との協力体制を築き（共通認識/理解）、一緒に選手の夢の実現のサポートをする

#### ◇国際的に通じる選手を育成する

##### ・テニスレベル

全体の半数は関東レベル、その半数が全国レベルを目指す

トップはエキストラプラクティスを使い全国タイトルを獲らせる

トップで国際ステージにコミットする選手はジュニアトランジットプロジェクトを使いグランドスラムジュニア出場させる

##### ・フィジカル

フィットネスコーチと連携しウィークポイントがないアスリートに育てる

フィットネステスト評価値の全体平均が 3.0 点以上にする

コンディショニングセッションを通じて怪我を予防する

##### ・人間力

応援される選手を育成する

「3つの約束」を中心に自主性並びに自立・自律した人としての成長を促す



ヴォランティアを通じて感謝を表現する場をつくる

・語学

掲示物や配布物で英語を積極的に使い、英語を身近なものに感じさせる

海外キャンプや海外遠征を通じて、英語の必要性和使う機会をつくる

(4) 活動計画

①成績目標

◇全国チャンピオンの輩出を目指すべく準備を進めていく

◇関東ジュニア出場選手目標

U16・18 9人【昨年度目標9人】

U12・14 8人【昨年度目標7人】 計17人【昨年度目標16人】

◇全日本ジュニア出場選手目標

U16・18 5人【昨年度目標4人】

U12・14 4人【昨年度目標2人】 計9人【昨年度目標6人】

◇ITF ジュニアランキング保持者目標

男子 4人【昨年度目標3人】

女子 2人【昨年度目標2人】

②在籍者数目標

在籍者平均38人を目標とする

\*2021年度は5人が卒業、8人(4月5人、9月3人)が入会見込み

③ジュニアトランジットプロジェクトを活性化させる

◇スタッフィングと料金設定を見直し継続可能なプロジェクトの基盤を作る

◇国際ステージに通用する選手とそれのチャレンジしていくコミットメントがある

選手を育成しプロジェクト参加選手を増やす

④教育スケジュール

◇全体ミーティング(年3回実施=4月・9月・1月)

◇全国選抜ジュニアのシンポジウム(5月)\*U12・14の選手対象

◇スポーツ科学セミナー講師によるセミナー(11月)

◇雨の日を活用したレクチャー(随時)

実施内容(ビデオレクチャー・目のトレーニング・ゴールセッティング・エリアの認識学習・スピーチの練習)

◇MFAの実施(保護者にMFAへの理解を促し、資格取得率を向上させる)

保護者の資格取得率90%以上

\*MFA=Medic first Aid メディック・ファースト・エイドの略称 救命救急法

⑤キャンプ・強化練習会

◇白子キャンプ(年間2回)

◇北信越交流会(年間2回=5月、12月)

◇ニューカレドニアキャンプ（8月上旬）

◇筑波山トレーニングキャンプ（9月）

⑥トーナメント帯同予定

◇全国大会とその全国大会につながる関東/県予選

◇主要なグレード大会（KTA杯、千葉U18、ピーナツカップ）

◇海外ITF Jr（6月 ニューカレドニア、1,2月 ニュージーランド）

◇国内ITF Jr（10月 大阪GA、10月 名古屋G2）

◇国内ATF（6月 山梨、11月 山梨 or 佐賀）

⑦スタッフ育成計画

◇共通理解と認識の向上

毎週月曜の育成コーチミーティングにて練習の質の向上のために翌週のレッスン計画をシェアするとともに積極的な意見交換を行なう

◇コミュニケーション能力の向上

コーチ間の「報連相」の徹底する（「Daily Note」での情報共有）

◇英語力の向上

TOEICを活用する（600点を目標点数とする）

◇外部とのコネクションづくりと情報収集

試合の帯同や外部の講習会参加時に積極的に外部とのコネクションを広げ、協力体制を築くとともに情報収集を図る

◇S級エリートコーチライセンスのアップグレード

S級エリートコーチライセンス講習会が開催の場合、積極的にコーチを派遣する

◇日本テニス協会主催レベルの講習会に参加する

⑧テニス協会との協力

千葉県ジュニア委員会強化部会に参加していく（基本的に森と稲葉）

大会やイベントなどの役員としても参加し、千葉県テニス協会に対して協力していく  
ジュニア委員会を通じて、情報交換や協力体制を築いていく

⑨海外のトーナメント/進学

情報のアップデートをしていく（ITF、UTR、アメリカの大学など）

(5) 経費計画

年間100千円を超える支出

◇千葉県ジュニア 200千円（レンタルコート 170千円、帯同費 30千円）

◇MUFGジュニア 120千円（レンタルコート 10千円、帯同費 110千円）

◇関東ジュニア 320千円（レンタルコート 120千円、帯同費 200千円）

◇全日本ジュニア 630千円（レンタルコート 130千円、帯同費 500千円）

◇全国中学生大会 200千円（レンタルコート 20千円、帯同費 180千円）

◇RSK全国選抜 100千円（レンタルコート 10千円、帯同費 90千円）

- ◇中牟田杯全国選抜 145 千円 (レンタルコート 15 千円、帯同費 130 千円)
- ◇オムニ/クレー練習レンタルコート (育成強化のため) 100 千円
- 費用合計 1,815 千円

## 【ハイパフォーマンス】

### (1) 基本方針

- ◇国内トップ選手を世界で通用する選手に育成する
- ◇グランドスラム大会出場を視野に入れて活動する
- ◇「Game Based Approach」の考えに基づいた指導

### (2) 収入・予算計画

プレイヤーズ	720 千円×1 人	720 千円	
	518 千円×1 人	518 千円	
	240 千円×1 人	240 千円	(昨年度予算 1,958 千円)
トランジット	720 千円×0 人	0 千円	(昨年度予算 720 千円)
トレーニングベース	500 千円×0 人	0 千円	(昨年度予算 0 千円)
	合計	1,478 千円	(昨年度予算 2,678 千円)

### (3) 活動指針

- ①グランドスラム出場・全日本選手権優勝を目標とする
- ②在籍人数目標 (年度末予定) : 2 人

#### ◇プログラム詳細

プレイヤーズ	在籍 2 人	(昨年度 3 人)
トランジット	在籍 0 人	(昨年度 1 人)
トレーニングベース	在籍 0 人	(昨年度 0 人)

#### ③選手別成績目標

##### ◇プレイヤーズ

- 松井俊英選手 ATP ランキング 100 位以内 (ダブルス)、GS 大会本戦出場
- 美濃越舞選手 2021 年 7 月引退予定
- 荒川晴菜選手 WTA ランキング 230 位以内、GS 大会予選出場  
(トランジットから昇格)

##### ◇トランジット

在籍なし

##### ◇トレーニングベース

在籍なし

### (4) 活動計画

#### ①プログラム強化

- ・各選手の基礎力を向上させ、世界で通用する技術・戦術・体力を構築する

- ・グラウンドスラム出場に必要な武器を作る  
(オープニングの向上・FHを軸にした戦術)
- ・プレースタイルに合わせた身体作り(怪我をしない身体・休息の管理)
- ・タクティカル・テクニカル・バイオメカニカル・フィジカル・メンタルの考え方を  
もとに、選手に対してのアドバイスや評価を行う
- ・フィットネスとの連携をはかり、バランスの取れた身体をつくる  
年1回のフィットネステストを実施  
(ウィークポイントを認識・強化し、年間を通して戦える身体をつくる)
- ・スポンサー及び共同事業者の開拓
- ・コロナ禍において遠征スケジュールが不確定なため、ホームでの活動サポートを主に  
取り組む
- ・各選手に合わせた課題練習を行う
- ◇トレーニングベースプログラム  
在籍なし

②コーチ帯同予定

なし

③練習環境の整備と利用有無の情報把握を徹底する(インドアコートの活用)

(5) スタッフ育成計画

①共通理解と認識の向上

- ・更なるプログラムの質の向上をすべく、伝え方・着眼点・指導法においてコーチ間で  
情報を常に共有する
- ・次世代ジュニア強化にも協力できるプログラムを目指す(ジュニアトランジット選手  
とも積極的にトレーニングを行う機会をつくる)

②コーチライセンスの取得

取得予定なし

(6) 100千円を超える支出計画

今年度より全日本選手権の帯同費は選手が支払う

【ハイパフォーマンス車いすプログラム】

(1) 基本方針

◇世界トップ選手の育成・活動サポート

◇パラリンピック(東京大会・パリ大会)を見据えての選手強化

(2) 収入計画

A カテゴリー	720千円×5名	3,600千円	
	5,000千円×1名	5,000千円	
合計		8,600千円	(昨年度予算 8,360千円)

### (3) 活動指針

パラリンピックで目標とする成績を出すことを最大目標とし、パラリンピックに合わせてパフォーマンスを最大限に引き上げるべく計画的かつ包括的なサポートの継続

#### ①在籍人数目標：5名

##### ◇プログラム詳細

A カテゴリー	在籍 4 名	(昨年度 3 名)
トランジット	在籍 1 名	(昨年度 2 名)

#### ②選手別目標

##### ◇A カテゴリー

国枝慎吾	世界ランキング 1 位、パラリンピック金メダル
眞田卓	世界ランキング 10 位、パラリンピック銅メダル
齋田悟司	世界ランキング 20 位、パラリンピック出場
荒井大輔	世界ランキング 15 位、パラリンピック出場
宇佐美慧	世界ランキング 15 位、パラリンピック出場

### (4) 活動計画

#### ◇プログラム強化

##### ・ゴールセッティング&プランニング

一人ひとりに練習課題、パフォーマンス、大会結果、ランキングの目標を 3 か月単位で設定し、その目標に対して 1 か月ごとにフィードバックと修正を行っていく

##### ・練習環境の整備

一人ひとりの選手、担当コーチを軸に日々の強化を行う

国枝慎吾	→ 岩見コーチ
齋田悟司	→ 吉田コーチ
眞田卓	→ Jason コーチ
荒井大輔	→ 穂積コーチ
宇佐美慧	→ 森コーチ

※東京パラリンピック後の体制については上半期で検討を行なう

#### ◇大会帯同について

個別での大会への帯同依頼は、担当コーチと相談のもと選手強化へ向けた年間計画をもとにコーチのスケジュール調整を行う。

#### ◇三井不動産全日本選抜車いすテニスマスターズ

日 程：2021 年 12 月 3～5 日 (仮)

対象者：男子・女子・クアードの ITF 及び JWTA ランキング上位者

目 的：①国内チャンピオンを決定する。

②本イベントから世界水準の選手を輩出する。

③競技スポーツとして、コミュニティー、メディアへの車いすテニスの

認知度を高める

④障がい者を正しく理解し、健常者との交流を図る

(5) 経費計画

なし

【トーナメント】

(1) 基本方針

◇全カテゴリー選手の大会環境の整備及び試合を通じた人間的成長のサポート

◇参加者並びに大会関係者に対して行き届いた目配り、気配りのある大会作り

◇事務局運營業務の機能化と資格取得や事務局増員を見越した将来的な人材育成

(2) 収入予算計画

ジュニアトーナメント

ヨネックスアーリーサマー	1,000千円
ブロッホカップ高校生	150千円
ブロッホカップ小・中2月	200千円
ブロッホカップ小・中5月	200千円
ブロッホカップ小・中7月	200千円
ブロッホカップ小・中9月	200千円
全国選抜ジュニア	1,000千円
関東ジュニアテニスツアー	3,800千円
TTC12・14才 オータム	1,000千円
TTC16才	500千円
ヨネックスオータム	1,000千円
ピーナッツカップ	10,000千円
TTC18才	500千円
ヨネックスウインター	1,000千円
TTC12・14才 スプリング	1,000千円
ジュニアトーナメント総額	21,750千円 (昨年度予算 21,800千円)

(3) 活動計画

◇UTRについて2022年度公認大会からの採用実現に向けて、関東テニス協会への働きかけを行う。また並行してTTC内部のイベントにてUTRを取り入れて開催することを目指す。

◇公認審判・レフェリー資格については講習会等の開催場所や日時をみながら取得していくことを検討する。

◇トーナメント運営円滑化のため、可能な範囲でデジタル化やオンライン化への移行を行う。その手始めとしてトーナメントデスク内でパソコン業務ができるよう、インターネット環境の整備、プリンターの設置などを検討する。

◇プレミーティングでの施設利用方法やルール等の周知徹底を行う。

◇質を保って運営するために千葉県女子審判部の方々などに協力を依頼して行う。

◇スタッフの育成計画として、永続的なトーナメントセクション運営を目指し、最低1名の公認審判員の新規取得を検討する。またセクションをまたいだトーナメント運営スタッフの登用を模索する。

#### 〈ジュニアトーナメント日程〉

ヨネックスカップアーリーサマー	4/10(土)・11(日)・17(土)・18(日)・24(土) 25(日)・予備日 29(木)・5/1(土)
ブロッホカップ小中5月大会	未定
全国選抜ジュニア	5/13(木)～16(日) 予 17(月)
ブロッホカップ小中7月大会	未定
関東ジュニアテニスツアー	7/26(月)～8/22(日) 予 23(月)
TTCジュニア12歳以下オータム	9/4(土)・5(日)・11(土) 予 12(日)
TTCジュニア14歳以下オータム	9/18(土)・19(日)・20(月) 予 25(土)・26(日)
ブロッホカップ小中9月大会	未定
TTCジュニア16歳以下	10/9(土)・10(日)・11(月) 予 16(土)・17(日)
ヨネックスカップオータム	10/30(土)・10/31(日)・11/6(土)・7(日)・ 13(土)・14(日) 予 20(土)・21(日)
ピーナッツカップ	12/25(土)～31(金) 予 2022年1/1(土)
ブロッホカップ高校生大会	未定
TTCジュニア18歳以下	1/8(土)・9(日)・10(月) 予 15(土)・16(日)
ヨネックスカップウインター	1/22(土)・23(日)・29(土)・30(日)・2/5(土) 2/6(日) 予 11(金)・12(土)・13(日)
ブロッホカップ小中2月大会	未定
TTCジュニア12歳以下スプリング	2/19(土)・20(日)・23(水) 予 26(土)
TTCジュニア14歳以下スプリング	3/5(土)・6(日)・12(土) 予 13(日)・19(土)

#### (4) 年間100千円を超える支出計画

参加賞	ピーナッツカップ	400千円
入賞カップ	ピーナッツカップ	400千円
	ブロッホカップ5大会	120千円
	TTCジュニア6大会	140千円
ドロー	ピーナッツカップ	1,300千円

	ヨネックスカップ 3 大会	330 千円
データ処理料	ピーナッツカップ	350 千円
	関東ツアー	100 千円
	TTC ジュニア 6 大会	300 千円
UTR 年間登録料		300 千円

## 【イベント】

### (1)基本方針

年間イベントカレンダーにより、ご参加頂くお客様の安全安心を第一に、それぞれのイベントの主旨を理解し一人でも多くのテニスファンを増やし「テニスが上達し、より豊かな人生を目指す・Play Tennis」を実践する

### (2)計画

#### ①A グレード《世界レベル・全国レベル・参加者 250 名以上でスタッフ全員が係る》

・かしわ国際オープンテニストーナメント	4/5～11
・TTC チャンピオンシップス	5/4
・ピヨピヨ親子ショートテニス教室	5/5・11/3・2/11
・全国選抜ジュニアテニス選手権大会	5/13～16
・KAZUKO 杯	12 月予定
・かしわスポーツフェスティバル	9/23
・全日本選抜車いすテニスマスターズ	12/3～5
・ウェルフェア/ラッフル	12 月予定
・初打ち大会	1/3

#### ②B グレード《関東レベル・参加者 250 名以内・スタッフが複数名係る》

・ヴァンベール(春のみ)	5 月
・プリンス関東ジュニアテニスツアー	8 月
・北軽井沢キャンプ	7 月
・バレンタインミックス	2 月
・ピーナッツカップ	12/25～31

#### ③C グレード《地域レベル・参加者 100 名以下》

・ヨネックスカップ	年 3 回
・ブロッホカップ(小・中・高)	年 3 回
・試打会	年 2 回
・車いすテニスライオンズカップ	年 2 回
・賛助会ゴルフ	年 3 回

#### ④D グレード《TTC 内部イベント》

・TTC ジュニア	・白子キャンプ
-----------	---------



- ・ミッドナイトダブルス
- ・忘年バトルダブルス
- ・FUN RUN
- ・チャレンジマッチ
- ・北軽井沢キャンプ
- ・筑波山キャンプ
- ・あそびの日
- ・JOP 千葉大会

各イベント開催については、新型コロナウイルスの感染状況を確認しそれぞれの状況に応じた対策を取りながら実施する

### 3. 指導者育成事業（公益目的事業3）

#### 【研修】

#### (1) 基本方針

- ◇国際テニス界における新しい知識や、実務経験を通して指導者・コーチ力の底上げを図る
- ◇TTC プログラムが持つ実務経験と知識を、他クラブやテニス関係者に情報発信や教育を行う
- ◇技術的トレーニング、身体的トレーニングやその他のテニスに関連した分野の研究を行う
- ◇国際的な教育プログラムを通して、TTC ジュニア選手や家族、競技志向選手、顧客、TTC スタッフの教育を行う

(2) 収入・予算計画：年間売上目標	2,153 千円
目標： MFA	72.8 千円×6=436.8 千円
科学セミナー	1,596 千円
スポーツセミナー	60 千円×2=120 千円

#### (3) 活動計画・活動指針

##### A. スポーツ科学セミナー・スポーツセミナー

##### ① スポーツ科学セミナー：

テーマ：未定

講師： Dave Miley 氏 (アイルランド)

日程： 11月第1、2週 (TTC会場 11/9、10)

共催： 公益財団法人日本テニス協会

スポンサー：アメアスポーツジャパン株式会社(仮)

対象： 国内テニスコーチ：集客目標 延べ300名 (TTC会場延べ 160名)  
(2019年度 各297名、146名)

責任者：吉部アシスタントディレクター(以下AD)、通訳：稲葉コーチ

活動計画：

- ・JTA との連携を深め、地域協会、そして都道府県協会との関係を強化して、指導者教育における発信力および体制を強めていく

・DVDの販売、ウェブ配信を検討し、より広くセミナー内容を伝えていく

② スポーツセミナー

対象： 関東地域テニスコーチ、運動指導者：集客目標 15-20名

責任者： 吉部 AD

◇スポーツセミナー (1)

テーマ： 未定

講師： 未定

日程： 2021年6月

◇スポーツセミナー (2)

テーマ： 未定

講師： 未定

日程： 2022年2月

B. クリニック/キャンプ/シンポジウム

①かしわ国際オープン・特別講演

テーマ： 未定

パネラー： 未定

司会： 吉部紳介

対象： 協賛各社、TTCスタッフ

日程： 4月11日

責任者： 石川久美子（トーナメントアシスタントディレクター）

②全国選抜ジュニアテニス選手権大会・シンポジウム

テーマ： 未定

パネラー： 未定

司会： 森

対象： 参加選手・コーチ・保護者：集客目標 160名

日程： 2021年5月14日

責任者： 森コーチ（トーナメントディレクター）

C. リサーチ

① 全国選抜ジュニア アンケート・参加者データ・マッチチャーターティング

準備期間： 2021年5月1日～

実行期間： 2021年5月13～16日

レポート： 2021年6月30日

スタッフ： TTC コーチ

責任者： 森コーチ

②ピーナッツカップ アンケート（練習状況、使用用具メーカー等）

実行期間： 2021年12月25～31日

レポート：2022年1月31日

スタッフ：TTCスタッフ

責任者：長塚勝美部長

#### D. インターンシップ及び講師派遣

・研修セッションが窓口となり、現場のスケジュールと内容を確認しながら積極的に受け入れる

・TTCでの経験を形式知化させてプレゼンテーションの形にまとめ、講習会形式の商品にしていく

・専門単元の資料整理および担当者養成を行う

#### E. スタッフ研修

##### ① 新人研修及び研修会

必要に応じて行う

##### ② スタッフ研修

月曜日の朝7時45分から9時の時間を利用し、TTCの事業の理解や各分野における知識の蓄積のため以下のテーマ、担当において研修を行う

また経年数に応じたテーマを設けて研修していく

#### What's TTC

TTCフィロソフィー、ミッションの共有	ボードメンバー
事業アセスメント	ボードメンバー
他事業視察	各スタッフ
施設メンテナンス・クリーンデー	穂積マネージャー(以下M)

#### Skill & Knowledge

TTCのテニスの基本	テニス部門責任者以上
サービスの基本	板谷企画主任
緊急時対応・応急処置	吉部AD
レッスンの質	古澤AD、穂積M
フィジカルの基本	吉部AD
科学セミナー講師による講義	科学セミナー講師、吉部AD

以下のテーマについては適時適任を選定して行う

社会人マナー

情報発信(SNSの活用)

コンプライアンス、ガバナンス

#### F. その他研修

##### ① アンチドーピングセミナーの開催

日程：未定

講師：未定

対象：ハイパフォーマンスプログラム所属選手、ITF ジュニア出場選手、全国大会出場ジュニア選手、担当コーチ

責任者：吉部 AD

③ MFA (Medic First Aid)

対象：TTC 全スタッフ、フューチャーズ・レベルアップコースの新加入選手の保護者、ボランティア、トーナメント関係者、一般希望者

※フューチャーズ、レベルアップの保護者に関しては継続率を最低 90%とする

責任者：立山コーチ

開催日：偶数月の開催（詳細未定）

④ ジュニア選手の両親へのインフォメーション、ライセンス関係

各セクションで全体ミーティングや掲示板等で情報を発信していく

プレーヤーズプログラム：岩見コーチ

選手育成プログラム：穂積 M、森コーチ

フィットネス・研修プログラム：吉部 AD

スクール事業 Tennis Play+Stay プログラム：古澤 AD

ボランティア：長塚部長

コーチライセンス(ライセンス更新含む)・外部研修参加等：ボードメンバー

#### 4. フィットネス・ケア事業（公益目的事業 4）

##### 【フィットネス・ケア】

##### (1) 基本方針

◇自己実現をサポートし、豊かなスポーツライフを創造する

◇「Reach Your Max」のコンセプトに基づき、フィジカルのみならず人間力を高める

##### (2) 収入予算計画

◇フィットネス部門の売上目標	19,467 千円	(2020 年度 19,373 千円)
【わくわく運動教室】	2,673 千円	(2020 年度 2,673 千円)
【トレーニング】	1,254 千円	(2020 年度 2,494 千円)
【ケア】	465 千円	(2020 年度 945 千円)
【遊育くらぶ】	15,003 千円	(2020 年度 13,079 千円)
【その他イベント】	72 千円	(2020 年度 182 千円)

##### (3) 活動指針

##### ①身体能力の向上

適切なトレーニング、休息、栄養に関する生理学的な変化および知識を提供する

##### ②人間力の成長

身体能力や競技力にとどまらず、人間として生きる力を育むべく、問いかけや考える機会を提供する

### ③競技力の向上

①および②により競技力の向上を図る

#### (4) 活動計画

##### ①フィットネストレーニング

###### ◇ハイパフォーマンスプログラム

- ・適切なトレーニング計画の作成、実施、チェックを行なう
- ・長期遠征の際のトレーニング処方を行なう
- ・トレーニング成果の一つの指標としてフィットネステストを年1~2度実施する

###### ◇フューチャーズプログラム

- ・Long Term Development の理解を深め、年代や性別に応じた適切なトレーニング計画の作成、実施、チェックを行なう
- ・年に2度(4月と9月)TTC フィットネステストを行い、個々にフィードバックを行う(全体平均で3.0以上を保つ)
- ・テニスコーチとの連携を図り、適宜必要な情報の共有や提案を行なう

###### ◇レベルアップコース

- ・Long Term Development の理解を深め、年代や性別に応じた適切なトレーニング計画の作成、実施、チェックを行なう
- ・年に2度(4月と9月)TTC フィットネステストを行い、個々にフィードバックを行う
- ・チャレンジシートを月ごとに設定、実施し、基礎的な運動能力の向上を図る

###### ◇一般プログラム

- ・一般の顧客からの要望に応じ、身体的チェック、コンサルティング、そしてフィットネストレーニングの指導を行う
- ・より多くの顧客に運動に親しんでもらうためのイベントや発信を行なう
- ・わくわく運動教室では低年齢ジュニア(小学1~3年)に対して、多種多様な経験と動作習得に必要な運動量を提供することにより基礎的な運動能力の向上を図る
- ・6月に普及ジュニアを対象にTTC フィットネステストを行う。フィードバックシートを配布し、運動能力に関する情報と共に成績優秀者を掲示する

##### ②ケア

###### ◇ハイパフォーマンスプログラム

- ・身体のコンディショニングにより、年間を通して選手の身体の状態を良好に保つ
- ・セルフケアを含めたりカバリーの意識や知識の向上を図ることで選手教育を行なう
- ・チームのスタッフとの情報共有を行ない、包括的に競技力や人間力の向上を目指す

###### ◇フューチャーズプログラム

- ・年間を通じて身体の状態を良好に保つため、セルフコンディショニングの指導を行う
- ・練習や試合のパフォーマンスを高める手段としてウォームアップやクールダウンの重要性を伝える

- ・ケガの発生時には、適切な処置と必要に応じて医師と迅速な連携をとり、早期復帰に向けたリハビリを行う

- ・チームのスタッフとの情報共有を行ない、包括的に競技力や人間力の向上を目指す

#### ◇レベルアップコース

- ・フューチャーズへの進級を見据え、練習や試合のパフォーマンスを高める手段としてウォームアップやクールダウンの重要性を伝える

- ・コンディショニングやチャレンジシートを通して、偏りのない身体の発達を図る

- ・リハビリが必要な際には保護者とコーチと相談の上、リハビリチケットにて対応する

#### ◇一般プログラム

- ・スポーツケアサービスでは、身体に関する日頃の悩みや症状に対し、必要な施術や情報提供により QOL の向上をサポートする

- ・リハビリサービスでは、運動療法を中心にケガからの復帰をサポートする

- ・身体のメンテナンスに関わる情報を広く発信し、健康の維持増進を啓蒙する

#### ◇医療機関との連携

- ・以下の医療機関の先生方と、選手のケガの処置および復帰へ向けた連携を図る。

上肢のケガ：キッコーマン総合病院 田中先生

下肢のケガ：柏市立柏病院 池川先生、筑波大学附属病院 金森先生

皮膚疾患：東京慈恵会医科大学付属病院本院 辻先生

スポーツ内科・アンチドーピング：慶応義塾大学 田畑先生

### ③遊育くらぶ

#### ◇主旨

- ・運動あそびを含む多彩な経験を通じて、心身豊かな子どもの成長を助成する

- ・子どもの居場所不足という保護者および地域の不安を解消する

#### ◇活動計画

- ・1日あたりの定員を30人として活動する(スタッフを常時2~3人充てる)

- ・運動遊び、昔遊び、自然活動、農業体験、勉強を自分の意思で行なえる環境を提供する

- ・メールや連絡ノートを通じて子どもの状況を保護者や学校と共有する

- ・有事の際の避難など、緊急時の訓練をスタッフおよび会員児童と行う

- ・スタッフの育成においては、書籍や文献、理念共有により共通の知識・理解の保有を図る

### ④イベント

- ・あそびの日：月に1度、第一日曜日に開催する

- ・かしわスポーツフェスティバルフィットネスブースの運営：9月

### (5) 経費計画(10万円以上の支出)

- ・Wattbike (インドアステーションナリーバイク) 350千円

## 【フロント】

### (1)基本方針

#### ①接客のプロとしての意識並びにフロントのサポート・対応力の強化

フロントはTTCの“顔”であるという事を常に念頭におき、TTCで楽しく充実したテニスライフを送っていただける様、お客様へのサポートや対応を遂行するサービスの基本である“挨拶”に再度重きを置き、フロントスタッフからアクションを取る事でコミュニケーションを図り、人としての温かい接客を行う

#### ②マルチスキルの向上

事務的な対応はもちろん、イベント・トーナメントの誘導や明確な情報収集ならびに伝達を図る。個々の持っているスキルを最大限に生かし様々な場面で能力を発揮する

#### ③東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げる（開催時に限る）

7月から開催が予定される東京オリンピック・パラリンピックを受け、館内装飾を始め、開催を盛り上げていく

#### ④キャッシュレス化（2021年度～2023年にかけての3年計画）

利用者の利便性の向上並びに労働人口低下に向けた業務の自動化を行い業務効率の改善をする事で持続可能な構成を確立する

お客様とのコミュニケーションの中でキャッシュレスに伴うデジタル化への不安を取り除きスムーズに移行できる様務める

2021年度から段階的に取り組み、2023年度に向けて完全構築を目指す

### (2)収支予算

タブレット端末の購入（3台予定）

150千円

### (3)活動指針

①イベント・大会へのサポート

②人材育成

③安全管理

④入会率の向上

⑤ショップ業務のサポート

⑥キャッシュレス化

### (4)活動計画

#### ①受付・イベントのサポート(ディレクターとの事前確認が必須)

2021年 4月 : 春入会キャンペーン・かしわ国際オープン

5月 : " " ・全国選抜・ピヨピヨ親子テニス教室・試打会

9月 : 秋の入会キャンペーン・かしわスポーツフェスティバル

10月 : " " ・ピヨピヨ親子テニス教室

11月 : スポーツ科学セミナー・試打会

### TTC30 周年記念行事（仮）

12月：車いすテニスマスターズ・ピーナッツカップ

1月：初打ち大会

2月：ピヨピヨ親子テニス教室

#### ②入会キャンペーン

春と秋に約2か月間行う。事前会議から参加、入会率アップのアイデア(PR方法・体験者のフォロー等)を出し、各部署との連携を図る。目標を達成する為チーム一丸となり、お客様へのサービス精神をもって、テニスの楽しさを伝えていく  
体験の受付から入会までの案内、手続きを行い、新規者の事前情報の獲得、体験レッスン前後のフォロー、入会手続き対応、クラスのウェディングをされている方の受入れ対応が中心

#### ③遊育くらぶ

システム面や入会手続き等必要に応じて可能な限りサポートを行う

#### ④ITF かしわ国際オープン

講演会の案内状送付、出欠席確認、会場の準備、料理配膳、名札準備、各サポート対応

#### ⑤全国選抜ジュニアテニス選手権大会

練習コート予約受付、懇親会の準備サポート、来賓の対応、フロントオープンの延長

#### ⑥ピヨピヨ親子ショートテニス教室

当日受付、ショップサポート

#### ⑦試打会

申込受付、参加者のリスト作成、当日の受付、ラケット申込の受付、在庫商品、発注品からガット張りへの処理。お渡しして完了とする為数週間処理を行う

#### ⑧スポーツフェスティバル

総合受付、芝生広場の来賓対応、フロント、会場管理などを担当。ディレクターの指示に基づく

#### ⑨スポーツ科学セミナー

参加者名簿の作成、2日間の当日受付、ポイント管理、サポート対応。(1人を予定)

#### ⑩三井不動産全日本選抜車いすテニスマスターズ

レセプションパーティーの出欠席管理とリスト作成、名札作成、当日受付

#### ⑪ピーナッツカップ

フロントオープンの延長、各サポート対応

#### ⑫初打ち大会

申込受付、出欠席の管理とリスト作成、名札作成、当日受付、軽食のサポート・初売り、福袋の販売

#### (5)外部セミナーの参加・人材育成



- ① 新人の採用と研修  
 人員の安定を図る。同時にサービス業の教育を行う(外部研修の参加含)
- ② サービス業の研修を主とし、JTIA のセミナーや一般セミナー等に参加し  
 フロント内で勉強会を行い実践に活かす  
 2019年5月～3月 : JTIA 主催フロント育成塾参加 (年4回)  
 2021年度も同様の研修に参加予定としている  
 (オンラインであれば参加は見送る予定)
- ③ フロントミーティングの実施  
 年4回実施予定 (6・9・12・3月予定)  
 キャンペーンやイベント、その他日常業務の情報共有  
 外部研修のアウトプット並びに接客・ホスピタリティを中心に研修を行う  
 緊急時対応や応急処置の確認

(6)安全管理

- ④ メディック・ファースト・エイドの全員取得並びに継続を図る
- ⑤ 緊急時の対応をマニュアルどおりに敏速、的確に行動出来るよう年一回は全体で  
 訓練を実施(担当者の指示に基づく)  
 またフロントミーティング内で年一回は再確認を図る
- ⑥ 救急車を要請時の情報シートを活用し救急隊員とのスムーズな情報交換を図る
- ⑦ 防犯上、万が一のトラブル対応の為、各自避難用笛を装着  
 緊急時訓練の中で再確認を行う
- ⑧ 夏季は WBGT の測定と掲示で注意を促す
- ⑨ 嘔吐など感染を注意しなければならない場合の適切な対応を図る
- ⑩ コロナウィルス感染予防対策として館内消毒、並びにフロントまわりの消毒を行う

(7)サービス力強化の為の情報共有と研修

- ⑪ フロントノート  
 目的：フロントスタッフが最新の連絡事項を記入・確認をする重要なツールとして活用する
- ⑫ 連絡事項ファイル  
 目的：印刷された情報をファイリングし、誰もが確認出来るよう整理しておく
- ⑬ メモファイル  
 目的：緊急、短期情報を一時的に共有する。各自の対応中の案件も共有をする
- ⑭ ブリーフィングノート(月曜日～金曜日)  
 目的：当日のイベント大会、コートの空き状況、顧客情報、体験入会者連絡・連絡事項、スタッフの動向等を発信していく
- ⑮ お客様チェックシート  
 目的：お客様の情報やご意見、事故報告書のコピーもファイリングし、フォロー

から完了させ、サービスと満足度の向上を図る

⑯ ユーザーズボイスファイル(サービスエースシステム)

目的:会員のお客様が直接書込むメッセージメールで、要望、問合せ、クレーム、サンキューメールがあり、内容によって各セクション担当者と対応  
サービスと満足度の向上を図る

⑰ サービスエースのメモ欄(サービスエースシステム)

目的:管理者側が顧客別に情報を書き込むツール。顧客情報・怪我対応・注文関係、体験対応などを共有する

⑱ 見える化ボード

目的:イベント集客数や TTC 全体の状況を毎日更新していく  
キャンペーンの終盤には目標人数までのカウントで、盛り上げを図りサポートする

⑲ イベントファイル

目的:要項のみをファイリングし一元化を図る

⑳ ウェルカムノート

目的:スクール体験のお客様の情報を集約し受付からアフターフォローまでより安心できるサービスを提供するためのツール。スタッフ間での情報共有を円滑に行い入会率の向上を目指す

(8)ショップ

①古中コーチと相談し、メーカー展示会に同行予定(コロナウィルスの感染状況に応じる)女性をターゲットにした商品を中心に注文(古中コーチ要相談の上)

ウェアの売り上げ目標達成に貢献する

②お客様が飽きない・見やすいショップレイアウトの変更

③商品が分かりやすい POP 作成

④マネキンを使用しての商品提案

(9)キャッシュレス化(2023年度までの計画)

①口座引落への移行

・年間登録料 ・振替差額 ・プライベートレッスン

・イベント ・レンタルコート ・物販 ※(左記は一部会員のみに対応)

不納者や新規会員に向けてはクレジットカード可能(不納者は手数料徴収)

②メール機能の活用

お客様にメールアドレスを登録していただく事で中止や代理等の連絡をスムーズに行う事ができる

③10日ㄨ作業の廃止

引落金額がより複雑化する為毎月引落金額を確認する事が不可能。その為料金の変更のある手続については日々トリプルチェックを行い、ㄨ日には引落データの作成

のみ行う

プライベートレッスンについては毎日コーチの確認が必要

④タブレット端末の導入（3台を予定）

入会申込書をお客様ご自身で入力していただく事でペーパーレス化を図ると同時に  
入力ミスがなくせる事と記入と入力の効率化を図る

⑤イベントのネットエントリーシステムの導入（検討事項）

厳選したイベントをネットエントリーにする事で受付の効率化を図る  
料金を引落やレッスンの振替として利用する事も可能（内部で設定が出来る）  
出席管理方法の変更（検討事項）

オンコート上でのタブレット端末での出席確認を検討

⑥ポイントシステムの導入（検討事項）

クレジットカード不可になった場合の代替案として提案  
出席ポイント等を付与する事も可能

⑦ガット張り受付の変更

現在は記入だが、POSでの受付に変更予定  
過去の履歴が簡単に閲覧可能となる

(10)経費計画

研修費用

予算を10万円以内で計画

人材育成・品質向上を目指し、アクションプラン形式に纏めていく

## II 収益・その他部門

### プロショップ事業（収益事業1）

#### 【プロショップ】

(1) 基本方針

ショップは、TTCを利用されるお客様へのサービスの一環として存在している。そのサービスとは、必要な商品の提供・新しい商品の提案を発信することである。

TTC全体の事業状況を踏まえ、提案内容を変更してサービスを継続していく。

(2) 収入・予算計画

売上 16,200 千円（前年 21,380 千円）

（ラケット 4,800 千円・ガット+加工代 2,800 千円+1,800 千円・シューズ 2,400 千円・ウェア 500 千円・アクセサリ 2,400 千円・その他 1,500 千円）

仕入 12,000 千円（前年 17,471 千円）

スタッフ販売協力として客単価 16 千円

(3) 活動指針

メーカー・スタッフ・顧客の間で商品販売を促進するサポート

#### (4) 活動計画及び施策

##### ① 月間フェア

試打会協賛メーカー・イベント協賛メーカー 年2回開催(4~6月・9~11月)

ラケット・シューズ・ガット・アクセサリーの提案

契約コーチによる販売イベントを実施する。

メーカーフェアは、SAを利用し、お客様へ告知する。

※別紙販促スケジュール参照

##### ② 試打会(もしくはラケット販売キャンペーン)

年2回(5月・11月)合計100本販売

8社参加予定

##### ③ ガット関連

ガット張り替えキャンペーン

→年3回期間張替目標1,100本(張人2人体制・フルタイムスタッフの協力を得る)

##### ④ DMによる商品割引

バースデーカード割引(ラケット・シューズ・ウェア)

年賀状割引(ラケット・シューズ)

ジュニアの 카테고리 変更割引(ラケット・シューズ)

##### ⑤ LPJでの商品紹介

ラケット・シューズ・グッズ類・サブリなど

##### ⑥ イベントでの商品販売

ピヨピヨ親子ショートテニス教室販売(年2回:5・11月)

レディースチーム・KAZUKO杯

Le Club イベントでの販売

在庫一掃セール及びブース販売

##### ⑦ SAのお知らせメッセージの活用

月間フェア・キャンペーン・セールの案内

※フェイスブックやホームページへは不定期にて掲載

##### ⑧ 不定期販売イベントの開催

ラケット・足型計測会

インソールお試し会なども開催予定

##### ⑨ インソール販売強化

販売知識の共有と販売協力

##### ⑩ 販売促進

フロント周りにストリングやグリップなど良く動くものを配置し、補充もしやすくする。あとプロショップ内にテニスメーカーのブランドストーリーを加え、道具の成り立ちなども伝える。

POP 作成→フロントスタッフ中心

展示会→契約コーチ中心

(5) 契約について

2021 年度のコーチ契約

新規及び契約入替 4 人

フルタイムコーチの増員に合わせて検討

(6) 経費計画

ストリングマシン (1,200 千円) ※完全に壊れた場合にのみリースにて希望

ガット張り工具・ディスプレイ用備品 (30 千円)

賛助会事業 (その他収益事業 2)

【賛助会】

(1) 基本方針

TTC をより多くのお客様に賛助していただくための活動をおこなう

(2) 収入・予算計画

賛助会費総合計 26,000 千円 (昨年度 27,000 千円)

新規会員目標

法人賛助会員 2 社以上 (昨年度末 39 社)

継続率 100%

個人賛助会員 50 人 (昨年度末 537 人)

継続率 91%

(3) 活動計画

- Le Club TTC の活性化を足元からおこなう (Le Club 活動指針参照)
- 新規入会・継続を促進する
  - ・ スタッフの入会・継続のお願い
  - ・ Le Club TTC 中心メンバーと理事・評議員のかたへのお願い
  - ・ 利用団体・業者のかたへのお願い
  - ・ 近隣地域との協力との連携
  - ・ 練習会・イベント参加への誘導と興味を引くイベントの開催
  - ・ Le Club TTC 入会のお誘い
- 賛助会ゴルフコンペの開催 年 3 回
- 寄付金の税額控除の説明をおこない入会促進に繋げる
- 10 年継続のかたに感謝の意を込めてお礼状と記念品を贈る (12 月)

(4) 経費計画 (予算計画・年間 100 千円超える支出)

- ネームプレート作成費用 (10 年継続記念品)  
具体額は後日提出します

(5)その他

- 寄附申込書（パンフレット）の作成

【ヴォランティア】

1 基本方針

地域との交流を継続し広げていくとともにヴォランティア活動への協力を推進する

2 収入・予算計画

なし

3 活動計画

- 交流を継続し拡大していく団体
  - ・ 柏商工会議所女性会
  - ・ 花野井町会
  - ・ 県立柏高等学校テニス部
  - ・ 市立柏高等学校
  - ・ 中央学院大学テニス部
  - ・ 麗澤中学・高校・大学
- 協力依頼予定のイベント
  - ・ ピヨピヨ親子ショートテニス教室
  - ・ おはようキッズ
  - ・ 全国選抜ジュニア
  - ・ ヨネックスカップ・TTC ジュニア・ブロッホカップ
  - ・ かしわスポーツフェスティバル
  - ・ 関東ジュニアテニスツアー
  - ・ かしわ国際オープン
  - ・ ウェルフェア
  - ・ 車いすマスターズ
  - ・ KAZUKO 杯
  - ・ ピーナッツカップ
- 以下のメンバーにヴォランティア活動への参加を促進していく
  - ・ TTC スタッフ
  - ・ Le Club メンバー
  - ・ 育成ジュニアの父母（年間計画をもとに4月に依頼）
- ヴォランティア講習会の実施
- サービスエースに活動記録を入力する
- MFA 取得の呼びかけをおこなう

## 【Le Club TTC】

### (1)基本方針

年齢・性別・地域を問わず、一人でも多くの方にテニスの楽しさを伝え全員が楽しめる Le Club 運営を目指す

### (2) 収入・予算計画

年間売上計画 9,111 千円 (昨年度 10,066 千円)

内訳: 練習会/月例/LPJ/クレサンテーム 7,383 千円 (7,356 千円)  
イベント&ツアー 1,728 千円 (2,710 千円)

### (3) 活動指針

今年度は採算が見込めないイベント・ツアーを中止し TTC で行なうものを丁寧に行なっていく 練習会 4,310 名 (昨年度 4,250 名) LPJ480 名 (390 名) イベント 649 名 (539 名) 初打ち 200 名 (200 名) 以上年間のべ 5,609 名 (5,379 名) のかたに TTC でテニスを楽しんでいただく

### (4) 活動・収入計画

▶ 今年度中止するもの (\*昨年度コロナの影響で実施していないもの)

- ・ サマーミックス\*
- ・ ノルディックウォーク\*
- ・ 津幡ツアー\*
- ・ 木更津ツアー\*
- ・ バラツアー\*
- ・ 全豪オープンツアー\*
- ・ 月例トリプルス

▶ 今年度開催するものとその収入計画

#### ① イベント

- ・ 春・秋ヴァンヴェール 各 16 チーム (64 名) 20 千円 640 千円
- ・ バレンタインミックス (2 日開催) 各 16 チーム (64 名) 17 千円 544 千円
- ・ サマーミッドナイトバトルダブルス 45 名 1.75 千円 79 千円
- ・ 年忘れチャリティーバトルダブルス 60 名 1.75 千円 105 千円
- ・ 初打ち大会 200 名 (ご招待) 0 千円
- ・ トリプルストーナメント 年 6 回各 16 チーム (288 名) 1.25 千円 360 千円

#### ② 練習会 (月例含む)

- ・ 4,310 名 (960 名/650 名/2,700 名) 1.25 千円~1.75 千円 6,735 千円

#### ③ LPJ (対抗戦含む)

- ・ 480 名 (土 360 名/対抗戦 120 名) 1.25 千円 600 千円

#### ④ クレサンテーム

- ・ 96 名 0.5 千円 48 千円

### Ⅲ 管理部門(法人会計)

#### 【管理】

##### (1) 基本方針

新たな時代のニーズに則し、DX(digital transformation)を意識した取組みを目指し、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変えて行く事を目指す。具体的には、事務の合理化・書類の削減(ペーパーレス)・外部折衝の合理化など経理・管理の業務効率化を進めて行く。また、人材の育成(管理 manager の登用や処理知識と能力の向上)を進め今後安定した体制づくりに注力する。

##### (2) 年間計画

###### (1) 業務の見直し

###### ① 外部委託のデジタル化を進める

- ・ 会計事務所・・・前期から取組んだ経理事務のクラウド化を更に推し進め毎月の事務を完全移行していく

目標：一回/7時間×2人×12ヶ月 ⇒ 1.5人(年間42時間合理化)

- ・ 社会保険労務士・年間テーマを決め、前期から取組んだりリモートでの相談・指導を定例化し時間とコストを合理化しタイムリーな対応を目指す

###### ② 現金処理と伝票の削減

交通費精算やその他経費精算のデジタル化への移行に取り組む

具体的には、月一回の振込み精算とすることで、現金決済を無くし非接触且つ決済手順を見直し全体の事務を合理化する

###### (3) 人材の育成と新たな体制づくり

管理マネージャーの養成と事務知識の向上を図ることで、質の高い業務を目指す。

事務事故ゼロは勿論のこと、管理職を養成することで検証のレベルを上げ、より一層スピードと質・信頼性の高い業務を目指す

##### (4) 活動計画と目標

###### ① 請求書関係をクラウド処理へ徐々に移行する

###### ② 給与明細と各種請求書の Web 移行

###### ③ 現金処理の削減・・・交通費及び立替金精算の振込み移行

###### ④ 公益法人会計 3 級の取得

###### ⑤ 情報連携の強化・・・週一回/30 分の情報交換の実施(事務状況)

###### ⑥ 月初の財務会議の実施・・・月次試算状況の情報共有

###### ⑦ 郵便代の削減(前年実績の多い順に Web か mail に移行する)

###### ⑦ フロントの非接触業務移行に伴う連携強化

##### (5) 経費計画

###### ① 給与明細の Web 移行手続き費用



## ②交通費・立替経費精算のキャッシュレス化に伴う手数料

### 【広報】

#### (1) 基本方針

◇TTC の活動内容をホームページや SNS などを適正に運用し、より多くのユーザーに幅広く効率的な情報発信をし、一人でも多くの方にイベント参加いただける様努める。

#### (2) 活動指針

##### ◇集客力を高める施策

ホームページのユーザビリティを改善し、新規入会に繋げていく。特に、スマートフォンでも見易いホームページに改良する。

##### ◇ブランド・イメージを高める取組み

Web からの情報を適切に発信し、ブランドイメージの向上を図る。30 周年記念動画などの活用を図っていく。

#### (3) 活動計画・目標

##### ◇PR 活動

①テニスディビジョン、企画と協力しポスティングを軸に PR していく。キャンペーン期間中で、春は柏の葉、秋はセナリオパークでイベントを実施し新規獲得を目指す。

目標人数は、春 55 人（アダルト 20 人/ジュニア 35 人）、秋 45 人（アダルト 15 人/ジュニア 30 人）。

##### ②掲示板からのインフォメーション

館内の各掲示物と第一駐車場掲示板（フロントと連携）の更新と管理を行い、近隣外部への情報発信と既存のお客様へ見易い掲示板の維持管理をする。

##### ③プレスリリース

かしわ国際オープンテニストーナメント、かしわスポーツフェスティバル、全日本選抜車いすテニスマスターズ、各トーナメントの告知を適時プレスリリースする

##### ④エリア戦略の推進

TX 柏の葉駅構内のポスター契約を更新し、柏の葉キャンパスと柏たなか駅周辺のファミリー層に対し TTC の認知度を上げる手段の一つとする。また、柏駅東口のデジタルサイネージの協力を引き続きお願いし、A グレードイベントの PR も実施していく。その他、企画と協力し、流山でのイベントやポスティングを他セクションと協力し実施していく。

##### ◇Web からの情報発信について

①上半期にホームページのリニューアルを完了する。今や検索の主流であるスマホユーザーへ対応するためユーザーの目的に合わせて表示項目を絞って表示する仕組みに改良し、見易く迷わないホームページにする。

②SNS の FB ではフューチャーズやハイパフォーマンスプログラム所属選手の活動や活

躍の情報を適切にアップし TTC のブランディングの一助にする。

インスタグラムは、不特定多数の内外のお客様に関連情報を伝え認知度 UP に繋げる。

③イベント等での告知から LINE for Business の登録を増やし、キャンペーンやイベントへの誘導に活用していく。目標登録者数 2,000 名 (2020 年度登録者数 520 名)

④新規入会者が iPad など端末で視聴できる、スクール規約動画を制作する。

◇各セクションとの連携

各セクションと協力しながら、かしわスポーツフェスティバルやかしわ国際オープンをはじめとする各種イベントをサポートし、TTC の認知度とブランドイメージのアップを図るとともに社会貢献活動にも協力していく。

◇TTC ニュース

例年通りイベントが開催された場合は、年 2 回、6 月と 1 月に発行を予定する。

◇外部団体との協力

Web や PR の戦略について、外部からの情報を取り入れ質の向上を目指す。

(4) 経費計画 (単位:千円)

① 看板広告料 . . . . . 58 千円 (1 箇所)

② TTC NEWS . . . . . 758 千円 (2 回分、前年比△370 千円)

③ 柏の葉ポスター . . . . . 860 千円 (柏の葉/年間)

④ HP 関係

・リニューアル費用 . . . . . 3,500 千円

・HP 保守費用 . . . . . 1,584 千円 (年間保守契約)

## 【企画】

(1) 基本方針

TTC のブランド力を内外に発信し、テニスを通して豊かな人間形成とより豊かな人生をサポートし企画運営に努める

(2) 収入予算計画

①協賛金目標 18,700 千円 (前年度 18,700 千円)

(新規獲得目標値 12 社 : 1,500 千円 1 社、500 千円 1 社、100 千円 10 社)

②イベント企画ノウハウ販売目標 300 千円

合計 19,000 千円

(3) 活動指針

<2 つの追及>

①サステナビリティの追及

・内外部からなるプロジェクトチームを編成し年間 3 イベント (かしわ国際 OP・車いすテニスマスターズ・WJP) に絞り集客・収支向上に繋げて行く

・顧客（個人・企業・団体）ロイヤリティの向上

## ②TTC ブランドの追及

・SDGs への取組みの見える化を進める（内外へ取組みへの貢献を発信する）

「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標。この目標達成に貢献する

\*N03：全ての人に健康と福祉を（生涯スポーツ推進：健康寿命を延ばす）

柏の葉、柏たなか、おおたかの森でのイベント実施

\*N08：働きがいも経済成長も（生活力と自信を身に付け、自分の将来を構築できるようにする）

各自が自己研鑽に積極的に取り組み、アウトプットする

\*N011：住み続けられるまちづくりを（地域貢献活動、「安全・安心な都市・地域づくり」）

定期的な地域をクリーンデーの実施

## (4) 活動計画

①法人賛助・協賛企業の継続と新規開拓活動の推進

②第 2 回 WJP の実施

③各イベントの質的向上（ヴォランティア・協力団体の拡大等）を図る

④培ってきたネットワークを駆使し、TTC の新規顧客（レッスン、協賛、協力）の拡大を図る

⑤イベント企画・運営ノウハウをイベント商品として販売し、イベント参加の協力に変えて行く

⑥パンフ・チラシ作成、印刷費の削減により各種イベントの赤字解消を目指す

⑦柏の葉、柏たなか（セナリオハウスパーク）でイベントを実施し、春・秋キャンペーンの PR と同時に協賛企業のスポンサーメリット（企業イメージアップ：各社地域貢献）の拡充を図る（生涯スポーツの推進と SDGs）

⑧地域クリーンデー。TTC から一歩外へ出たところを掃除する（月 1 ごみ拾い等：地域貢献と SDGs）

## (イベントサポート)

4 月 かしわ国際オープンテニストーナメント (AD) 延期予定  
オリパライベント（新規）（柏市・三井不動産と協同）

5 月 全国選抜ジュニア（AD・MC）  
柏の葉ファミリーフェスタ（スポーツライフと協同）

9 月 かしわスポーツフェスティバル（AD）

10 月 柏たなかファミリーフェス

12 月 全日本選抜車いすテニス選手権大会（AD）

ウェルフェア・ラッフル（AD）

ピーナッツカップ

(事務サポート)

未定月 流山おおたかの森でスポーツとパンフェス(新規)

③地域貢献活動の推進

- ・個人・地域・企業・各種団体との協働を図り TTC の利用者を増やす礎とする
  - 柏オークライオンズクラブ・柏創生ライオンズ(9月/田中神輿まつり)
- ・スタッフと協力し地域交流を図り、地元のサポートを更に厚くする
  - 花野井町会イベント
    - ゴミゼロ運動 (5月)
    - 香取神社神輿祭り (7月)
    - 花野井ふれあい祭り (8月)
    - 芋煮会、防災訓練 (11月)
  - 田中地区へのアプローチイベント(普及と協同)

⑤企画力や対応力向上に努める

- ・外部イベントを視察し、職務の資質向上を図る

⑥各業務の遂行管理と報告

- ・各イベントの役所への申請・報告業務(文書作成)
- ・内外文書確認作業

(5)支出計画

①11件/110千円の地元協力金

②イベント視察 30千円

【施設管理】

(1)基本方針

豊かな自然と、最新の設備の導入

(2)収入・予算計画

収入計画 4,500千円(レンタルコート使用料)

(3)活動指針

- ◇ レンタルコート売上・コート稼働率アップ施策の策定
- ◇ 経費管理の徹底
- ◇ システムの維持管理・改良
- ◇ コート・建物の維持管理
- ◇ 各種団体への募金
- ◇ 企画部門のサポート

(4)活動計画

- ◇ レンタルコート売上アップについて

①空コートを有効活用

JOP 大会を 2021 年度は 10 回開催予定

平日の昼に 10 回で申請済み

＜79 千円／回（満員の場合）＞×10 回（見込売上 792 千円）

②外部イベントにレンタル

毎年利用いただいた団体様の次年度の仮予約を取り付ける

予約が取れなかった日程は、橋本総業様や JTA、JWTA などにイベントや合宿可能日としてご案内し稼働率・売上をあげていく。

◇ コート稼働率アップについて

（目標稼働率）（6 時～24 時）

2020 年度 インドアコート 85% アウトドアコート 58%

③早朝の活用

早朝の空きコートを稼働させるため 2021 年度もテニプロとの年間契約締結を行う。

① サービスエース（会員システム）の掲載

トーナメント予備日で急遽コートがあいてしまうのを防止するため引き続き予備日をサービスエースに掲載し、予備日特別料金での利用を増やし稼働率・売上アップを図る

⑤第 2 インドアコートの稼働率アップ

1 面をレンタルコートとして貸出し稼働率アップと売上確保を目指す

⑥イギリス車いすテニスチームのキャンプ

2021 年 8 月 19 日～23 日 10 時～18 時で実施予定

晴天時アウト 3 面（雨天時インドアコート 2 面）使用

◇ 経費管理について

（経費総額 8,000 千円を目指す）

● 水道

水道に関しては有効な節水器具を検討していく

● コピー

契約先及び契約単価の見直しを進める

◇ システムの維持管理・改良

老朽化や故障によるトラブル回避のため、2021 年度は 5 台を入れ替え予定

◇ フロントシステムリニューアル

申込み入会書類をタブレットによる電子入力へ変更を目指す

◇ 建物の維持管理

①館内エアコンの入れ替え作業の継続。

（ビデオラウンジ、サブラウンジ）

②スタッフによる施設メンテナンスの確立

- ・担当箇所を明確に区分する
- ・報告・確認の徹底ができるようにする

### ③TTC のリフォーム

- ・3 か年計画で実施予定
- ・トータル予算 30,000 千円を目途に実施
- ・具体的な計画の確立を目指す

#### ◇ 設備関係

①白イス。白テーブル追加購入（白イス 40、白テーブル 10）  
イベント用長机購入（10 本）

②大型乾燥機の導入

コートドライ用タオル・フィットネスタオル等の不足を解消するため  
導入の検討をすすめる

#### ◇ 各種団体への募金（目標総額 400 千円）

チャリティーラッフル・ウェルフェアを実施して募金活動をおこなう  
募金団体は以下の 4 団体とする

- ①公益財団法人日本ユニセフ協会
- ②財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWF）
- ③乳癌撲滅啓蒙運動
- ④TTC ジュニア基金・TTC 車いすテニスすみれ基金

#### ◇ 企画部門のサポート

地域協力団体との協調の為、地域イベントのサポートを行う

### (5) 経費計画

予算計画	420 千円（館内清掃 5 月・11 月）
	240 千円（駐車場定期点検 5 月・11 月）
	540 千円（会員カード 2000 枚）
	2,200 千円（サーバー機器）
	700 千円（タブレット端末 コーチ受付用）
	800 千円（屋外 wifi 増設工事費）
	1,100 千円（サービスエースプログラム変更費用）
	600 千円（パソコン入替）
	4,000 千円（コート照明 6 番片側）
	250 千円（エアコン交換 ビデオ・サブラウンジ）
	150 千円（白イス 40・白テーブル 10）
	90 千円（イベント用長テーブル）
	2,900 千円（大型乾燥機）
その他費用	10,000 千円（30 周年建物リニューアル工事）

合計予算 23,990 千円

【経営その他】

(1)役員会の運営

- ①定時理事会の開催・・・ 6月(事業報告)と理事の改選  
11月(中間報告)  
3月(事業計画) 以上定時理事会を年3回遂行する
- ②定時評議員会の開催・・・ 6月(事業報告・理事改選の承認)

(2)制度の改定

就業規則の更なる改正に取り組み、働き甲斐のある職場を目指す

(3)総務体制の再構築(人材育成)

- ①所長の後任人選と育成・引継の体制づくり
- ②管理責任者の登用と育成

(4)施設リニューアル計画の推進(3年計画への取組み)

TTC 未来図をベースに、今後3年計画で施設のリニューアルを進める

(5)パラリンピックの機会を生かし柏の街づくり共働に努める

車いすテニス日本代表選手の後押しや、英国チームの合宿をサポートすると共に、柏市の街づくりの共働に努めて行く

以上